

JAPAN PRIZE NEWS

財団法人 国際科学技術財団

THE SCIENCE AND TECHNOLOGY
FOUNDATION OF JAPAN (JSTF)
〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目17番22号
赤坂ツインタワー東館13階
Tel.03(5545)0551 Fax.03(5545)0554
E-Mail info@japanprize.jp
URL http://www.japanprize.jp



No. 38
2007(平成19)年5月

2007年(第23回)日本国際賞は 仏独英の科学者が受賞 天皇皇后両陛下をお迎えして授賞式



(財)国際科学技術財団が、世界の科学技術の進歩に大きく寄与し、人類の平和と繁栄に著しく貢献した人々を顕彰する2007年(第23回)日本国際賞の授賞式が、4月19日(木)、東京・国立劇場で行われました。

今回の授賞対象分野は「基礎研究が発信する革新的デバイス」と「共生の科学と技術」の2分野で、それぞれ304件、64件、計368件の推薦を受け、この中から3博士が受賞者に選ばれました。

「基礎研究が発信する革新的デバイス」分野では巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見と革新的スピエレクトロニクス・デバイスの創生に多大な貢献をした、パリ南大学(パリ第11)教授のアルベール・フェール博士(フランス)とユーリヒ固体物理研究所のペーター・グリュンベルク博士(ドイツ)が共同で受賞しました。また「共生の科学と技術」分野では、人と共生する熱帯林保全への貢献をしたハーバード大学チャールズ・ブラッド森林学名誉教授のピーター・ショウ・アシントン博士(英国)が受賞しました。

日本国際賞

「日本国際賞」は、全世界の科学技術者を対象とし、独創的・飛躍的な成果を挙げ、科学技術の進歩に大きく寄与し、もって人類の平和と繁栄に著しく貢献したと認められた人に与えられるものです。

受賞者は、国籍、職業、人種、性別等は問いませんが、生存者に限られます。

この賞の対象は、科学技術の全分野にわたりますが、科学技術の動向等を勘案して、毎年2つの分野を授賞対象分野として指定します。

本賞は、原則として各分野1件、1人に対して授与され、受賞者には、日本国際賞の賞状、賞牌及び賞金5,000万円(1分野に対し)が贈られます。

「基礎研究が発信する革新的デバイス」分野

授賞業績：巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見と革新的
スピニエレクトロニクス・デバイスの創生



アルベール・フェール博士(フランス)
パリ南大学(パリ第11)教授



ペーター・グリュンベルク博士(ドイツ)
ユーリヒ固体物理研究所

「共生の科学と技術」分野

授賞業績：人と共生する熱帯林保全への貢献



ピーター・ショウ・アシュトン博士(英国)
ハーバード大学チャールズ・ブロード森林学
名誉教授

授賞式

授賞式は天皇皇后両陛下をお迎えし、河野洋平衆議院議長、扇千景参議院議長、島田仁郎最高裁判所長官、高市早苗内閣府特命担当大臣(科学技術政策、イノベーション)ら政・官界代表の他に、在日外国大使並びに財界、著名な学者・研究者、言論界代表等約900名が出席して行われました。

式典は東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ(指揮ダグラス・ボストック)が演奏する「日本国際賞式典序曲-Overture Japan」(三木稔作曲)で開会しました。

吉川弘之財団理事長の開会挨拶、熊谷信昭審査委員長による審査結果報告および受賞者の紹介の後、「基礎研究が発信する革新的デバイス」北澤宏一部会長による贈賞理由の説明、また「共生の科学と技術」岩槻邦男部会長による贈賞理由の説明の後、3博士に日本国際賞の賞状、賞牌および副賞5,000万円(1分野に対し)が伊藤正男会長よりそれぞれ贈られました。

受賞者挨拶でフェール博士は「現代の研究には総合的な取り組み



が必要です。私は多くの同僚やパートナーとつねに協力してきました。今回の受賞業績に対するそうした方々の多大なる貢献にも心より感謝いたします。」と述べました。共同受賞のグリュンベルク博士は「専門分野といえども一般教養や自然科学への理解がなければ始まりません。さまざまな授賞対象分野を持つ日本国際賞はこの考え方を反映している、と私は理解しております。フェール

博士とともに受賞者として選ばれたことをとても誇らしく光栄に思っております。」と述べました。また、アシュトン博士は「私の業績はつねにチームの一員として成し遂げられました。特に、教え子である学生諸君、アジアの熱帯諸国やここ日本の友人、同僚が挙げた素晴らしい成果抜きで、それを語ることはできません。」と受賞の喜びを表されました。

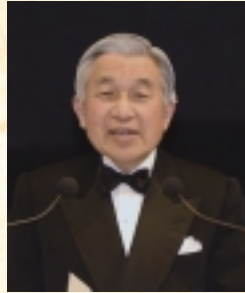
受賞者の挨拶の後、天皇陛下からお言葉を賜り、続いて三権を代表して河野衆議院議長が祝辞を述べられました。その後、受賞者と天皇皇后両陛下は客席で一緒に記念演奏をお楽しみになり、授賞式は閉会となりました。

天皇陛下のおことば

第23回日本国際賞の授賞式に当たり、「基礎研究が発信する革新的デバイス」の分野において、アルベール・フェール博士とペーター・グリュンベルク博士が、また「共生の科学と技術」の分野において、ピーター・ショウ・アシュトン博士が、それぞれ受賞されたことを心からお祝いいたします。

フェール博士とグリュンベルク博士はそれぞれに、金属の薄膜を交互に重ねると、わずかな磁界を加えるだけで電気抵抗が大きく変化する巨大磁気抵抗効果のあることを発見されました。この効果を用いた読取装置により、極めて高い密度の磁気記録が可能になり、これが小型大容量のハードディスクとしてパソコンや家庭電化製品に広く利用され、情報化社会の発展に大きく寄与しております。

アシュトン博士は、長年にわたり東南アジアの熱帯林に数多く見られるフタバガキ科の樹木などの分類と生態について詳細な研究を進めてこられました。現在、博士の御研究などを基にして、世界の14か



国の熱帯林で5年に1度、大面積長期継続観察計画が実施されています。伐採などで消失の進んでいる熱帯林を良好な状態に保ち、持続的に利用していくには、今後、このような研究が大きく寄与していくものと思います。この度、アシュトン博士がフタバガキ科の樹木について研究を進められてきたことを知り、私ども2人が1970年マレーシアを訪問した折、クアラランプール近郊の森林にフタバガキ科の樹木を見に行った時のことを懐かしく思い出したことでした。

ここに、3博士の優れた業績に対し深く敬意を表します。

科学技術が人類社会に与える恩恵は計り知れないものがあります。これからも科学技術が国境を越えて、人々の協力によって発展し、人々に恩恵をもたらすよう、皆で努めていくことが大切と思います。

日本国際賞が、今後ますます、人々に真の幸せをもたらす科学技術の発展に寄与することを願い、お祝いの言葉といたします。



天皇皇后両陛下御着



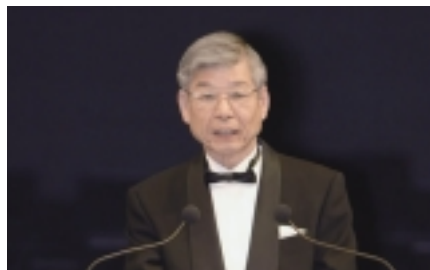
吉川理事長 主催者挨拶



熊谷審査委員長 審査結果報告



北澤部会長 贈賞理由説明



岩槻部会長 贈賞理由説明



河野衆議院議長 祝辞



記念演奏会に臨まれる両陛下と受賞者



記念演奏

祝 宴

授賞式の同夜、東京・帝国ホテル「孔雀の間」において天皇皇后両陛下ご臨席のもと、政府代表、在日外国大公使および各界から約300名を招いて、盛大に祝宴が催されました。

伊藤会長の挨拶により開宴され、天皇陛下から受賞者の栄誉をたたえて乾杯のご発声を賜りました。

食事と歓談がなされ、三権を代表して扇参議院議長から祝辞が述べられました。最後に各受賞者から謝辞が述べられ華やかな宴も和やかな雰囲気うちに終宴となりました。



天皇皇后両陛下御着



伊藤会長 開宴の辞



扇参議院議長 祝辞



フェール博士 謝辞



グリェンベルク博士 謝辞



アシュトン博士 謝辞

2008年(第24回) 日本国際賞

2008年(第24回)日本国際賞授賞対象分野は「情報通信の理論と技術」および「ゲノム・遺伝医学」の2分野です。

現在、当財団に世界各国の有識者から受賞候補者の推薦状が多数寄せられています。財団に設置される2008年(第24回)日本国際賞審査委員会の審査を経たのち、受賞者の発表は来年1月、授賞式は同年4月を予定しています。

領域Ⅰ 情報・通信

「情報通信の理論と技術」

コンピュータやネットワーク等の進展とその普及は、人類史上未踏のサイバー空間を拓き、社会構造を柔軟化し、ボーダレスな経済活動を促して、人々の生活空間を著しく拡大してきました。このような世界的潮流に照らし、2008年の日本国際賞は、情報通信の理論と技術の進歩に貢献した研究者に授与するものとします。例えば、計算の理論、アルゴリズム、コンピュータソフトウェア、コンピュータシステム、コンピュータアーキテクチャ、ヒューマンインターフェース、インターネット、検索技術、情報セキュリティ、可視化技術、情報理論、情報圧縮、暗号理論、符号理論、電波・光通信システム、無線通信システム、量子情報通信などが授賞対象となります。

領域Ⅱ 生命科学(医術)

「ゲノム・遺伝医学」

近年のゲノム科学や分子遺伝学などの進歩によって、ヒトのゲノムを構成している約30億塩基の遺伝暗号が明らかにされ、種々の生命現象の理解が深まりました。また、これらの研究は医学、特に、疾患の原因遺伝子や遺伝的リスク要因、薬剤の副作用に関係する遺伝子などの解明に大きな貢献を果たしました。

2008年の本賞は、ゲノム医学や遺伝医学に関する基礎的な原理の発見・実証、あるいは基盤的情報の整備、画期的解析技術の開発によって医学の進歩に対して顕著な業績を挙げた研究者を対象と致します。

受賞者の思い出のアルバム

フェール博士



▲ 森と、ブドウ園に囲まれたピレネー地方。お母様と弟さんと過ごした幼い頃の思い出です。(3歳・1940年)



◀ お二人でモナコ、スペインなどを旅行されました。(30歳・1967年)



▲ ご家族おそろいでの記念写真。笑みがこぼれる、幸せいっぱいのご家族です。(51歳・1988年)



▲ 日本国際賞受賞の知らせを受け、ご友人、ご家族一緒に、その喜びを分かち合いました。

グリェンベルク博士



▲ 幼い頃は、「善人、森のきこり」になりたいと思っていた博士だそうです。(2歳・1940年)



◀ ドイツ文学、英文学にご関心のエルマさんとお結婚。(28歳・1966年)



◀ ドイツ連邦共和国大統領から、「ドイツ未来賞」を受ける博士です。(60歳・1998年)



▲ 現役を去られる際の研究仲間。今でも、後輩の指導にあたられています。(65歳/2003年)

アシュトン博士



▲ 窓拭きのお手伝いを買って出ました。(2歳・1936年)

ブルネイにて(23歳・1957年)
ブルネイでの大切な採集チームです。
いつも行動をともにしてくれました。



▲ スリランカにて(61歳・1995年)
博士とメアリー夫人は、いつも一緒です。やさしい笑顔で熱帯林の成長を喜んでいらっしゃいます。

みんなでスリランカ(71歳・2005年)
さあ、準備万端。スリランカの森林保護区に向かって、いざ出発。





16日 受賞者歓迎レセプション

日本国際賞週間



18日 内閣総理大臣表敬訪問



16日 合同記者会見

当財団では、4月16日(月)から22日(日)までを「日本国際賞週間」と称し、各種行事を行いました。



18日 受賞記念講演会



17日 日本学士院表敬訪問



22日 京都の休日



18日 学術懇談会

やさしい科学技術セミナー

本セミナーは、私たちの生活に関わりのある、いろいろな分野の先端技術等について、その分野の専門家を講師にお招きして、わかりやすく解説していただくもので、学生から一般の方々を対象としております。応募者多数の場合に限り、抽選とさせていただきます。結果は発送をもって代えさせていただきます。

参加費無料

回数	開催日時	定員	場 所	テーマ	講 師
172	5月22日(火) 18:00-19:30	144	泉ガーデンタワー7階 (東京都港区)	チューリップはプラスチックの原料! ～植物由来のバイオベースプラスチックについて～	木村 良晴 先生 京都工芸繊維大学繊維科学センター長
173	7月13日(金) 14:00-15:00 講演 15:00-15:30 見学	50	東京工業大学すずかけ台キャンパス B2棟4階大会議室 (神奈川県横浜市)	見た目だけじゃない? ～シクリッドにおける「匂いを介した配偶者選択」の可能性探索～	二階堂 雅人 先生 東京工業大学大学院生命理工学研究科助教
174	8月4日(土) 13:30-14:00 講演 14:00-14:30 体験実験	30	摂南大学薬学部5号館第9実習室 (大阪府枚方市)	目に見えない生き物たち	桑名 利津子 先生 摂南大学薬学部薬学科微生物学研究室助教
175	8月10日(金) 13:00-16:00 講演(4名) 16:00-17:00 懇談会	200	放射線医学総合研究所講堂 (千葉県千葉市)	高校生のための「よくわかる放射線の測定」 ■懇談会は高校生限定	中村 秀仁 先生 放射線医学総合研究所基盤技術センター研究員
176	9月25日(火) 18:00-19:30	144	泉ガーデンタワー7階 (東京都港区)	モジュール型ロボット ～ブロックで組み立て、自分で変形できるロボット～	黒河 治久 先生 産業技術総合研究所 知能システム研究部門グループ長
177	11月27日(火) 18:00-19:30	144	泉ガーデンタワー7階 (東京都港区)	地下水は地震の情報屋(仮)	小泉 尚嗣 先生 産業技術総合研究所
178	12月19日(水) 14:00-14:20 講演 14:30-15:10 実演	20	兵庫県立大学理学部 研究棟7階739号室 (兵庫県赤穂郡)	物性設計可能な人工結晶の実現へ向けて ～ナノ粒子で構成される人工格子の合成～	佐藤 井一 先生 兵庫県立大学大学院物質理学研究科助教

お申し込み方法

ホームページ(www.japanprize.jp)から、またはFAX・お葉書にて希望される講演月日を明記の上、住所、氏名、年齢、電話(FAX)番号を記入し、当財団までお申し込みください。

会場所在地

泉ガーデンタワー7階 東京都港区六本木1-6-1 放射線医学総合研究所 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
東京工業大学すずかけ台キャンパス 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 兵庫県立大学理学部 兵庫県赤穂郡上郡町光都3-2-1
摂南大学薬学部 大阪府枚方市長尾峠町45-1